

＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

平成28年7月1日(金)
練馬区立豊玉第二小学校
校長 佐野 匡

豊二小だより 7月号

子供たちによる

校長 佐野 匡

本年度から練馬区では新しい3学期制がはじまり、はじめての一学期があと1月となりました。暑い日が多いですが、子供たちは元気に学校で過ごしています。6月には6年生とコスモス学級の宿泊がありました。「学校でやっていることを外でもやる。」「みんなで一緒に行動する。」など、自分たちで確認しながら生活をしていました。

さて、6月の学校だよりでは今年度の新しい取り組みである「豊二まなびフェスト」についてお知らせしました。この7月号では、**新しくなった代表委員会**についてお伝えします。今年度は委員会の組織を、昨年度とは換えて活動しています。代表委員会には、3年生以上のクラス代表、代表委員会の運営を行う5.6年生の計画委員、そして、各委員会の委員長が参加をしています。こうすることで、豊二小の全児童で構成する児童会が結びつきます。

自分たちで話し合ったことをもとに実際の活動することで「自分たちが学校の一員である。」「自分たちが学校を創っていく。」という意識につなげたいと思っています。第一回の代表委員会の際には担当教員から「今年の代表委員会は豊二小の子供の国会のようなものです。」という話がありました。

よりよい活動にするために、参加できる教員が代表委員会に参加し、子供の活動を見守ると共に指導しています。

7月1日からはユニセフ運動が始まっています。SNSルールについても話し合いました。ご家庭に届けられているお知らせの中に、子供たちが書いたお知らせがいくつか届いていると思います。これらが「子供たちによる」活動の証です。

よりよい2学期につなげるために、しっかりと1学期のまとめを指導していきます。



多くの教員と一緒に参加しています。



どの学年からも積極的な発言があります。



あいさつ運動とユニセフ運動を一緒にしています。